

宮代地区まち協通信

第114号

発行日 令和 5年6月1日

2023年



南宮大社の“卯”

安曇野

撮影 福本 莞さん



「鈴虫の会」について

鈴虫の会 会員 若山 鈴子

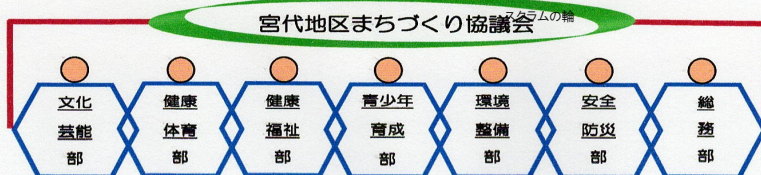
私達が活動させて頂いている「鈴虫の会」というのは、皆さんにはあまり認識されていないと思います。発足は意外と歴史があって、30年くらい前だと聞いています。現在は、垂井町内で有志4人の会員により活動しています。活動内容としては、「広報たらい」を全ページ声に出して読み上げ、録音し、その音声を必要とされている方にご利用頂いています。どのようにお伝えすれば耳に心地よく聞いて頂けるか、例えば声の大小、高低、速度などは録音したものを何度も聞き直したりしますし、なかでも特に難し

いのは、「広報たらい」に載せてある表・図解・写真などをどのように表現すれば理解してもらえるのか考え、毎回試行錯誤を繰り返しています。町内の過去の実績や、現在の状況、また未来の展望等を少しでも知ってみたいと思って努力しています。ご興味がある方は一度見学において下さい。



目次

- 「鈴虫の会」について
- 行事予定 (6月度)
- 「不便益」とは
- 活動報告 <4月・5月の活動>
- 文芸の広場 中山社 北野句会
- 宮代の人物シリーズ
- 編集後記



行事予定



※各種教室などには別途チラシや案内書、又は記載されていないサークル活動や団体活動等があります。詳細はまちづくりセンターまで問い合わせ下さい。

	事業名	日時	曜日	場所	備考
1	水墨画教室	2日・16日 19:00~21:00	金	まちセン 大会議室	会員募集中
2	西濃バレーボール協会 審判委員会	3日 18:30~21:30	土	まちセン 大会議室	
3	体育推進委員会総会	4日 9:00~11:00	日	まちセン 大会議室	
4	絵手紙教室	4日・18日 13:00~15:00	日	まちセン 大会議室	会員募集中
5	TS 琴好会「大正琴教室」	8日・22日 14:00~16:00	木	まちセン 大会議室	会員募集中
6	音（おと）楽（らく）倶楽部	8日・22日 10:00~12:00 14日・28日 18:30~21:00	木 水	まちセン 大会議室	水曜日のみ会員募集中
7	青少年育成推進委員会総会	11日 10:00~11:30	日	まちセン 大会議室	
8	池坊生け花クラブ	12日・26日 13:00~15:00	月	まちセン 大会議室	会員募集中
9	伝統文化子ども「お花教室」	17日 9:30~11:30	土	まちセン 大会議室	会員募集中
10	水彩を楽しむ会	17日 9:00~11:30	土	まちセン 小会議室	

不便だから得られる「不便益」

私が小学生だった60年位前では考えられないほど便利な世の中になりました。スマホ・パソコン・クーラー・カーナビ・ロボット掃除機・何処にもあるコンビニと数え上げれば切りがありません。

そんな時代ですが、皆さんは不便で良かったことはありませんか？スマートフォンや地図アプリを見ながら目的地まで最短距離で向かえば効率はいいです。でも、スマホを忘れて、迷いながら向かったらすてきなお店に出会えるかもしれません。これはほんの一例ですが、こうした不便から得られる「不便益」が考えられます。不便だからこそ得られる益で、階段や坂があるバリアフリーの高齢者施設では、介護士はぎりぎりまで手を貸さずに、お年寄りの身体能力の低下を防いでいるそうです。

他には船でしか行けない旅館や、行き先の分からないミステリーツアーなど、不便だからこそ楽しい思い出が残ります。

便利なことは悪くないと思いますし否定もしません。また懐古主義とも違います。

不便だからこそ工夫できる良さと、そのことが理解できる良さとが寄与し合い新しい物が生まれる可能性を秘めています。もう一つ、物事の捉え方が変わる側面もあると思います。

日頃不便だと感じるだけだった事もその不便さに益があると考えたと、前向きになり、生活を楽しめるようになるのではないのでしょうか。あなたの身の回りにも、とても不便で、困っている物や、事はありませんか？その不便さについて何か「益」がないか考えてみては如何ですか？きっと何か見つかるはずですよ。

<素数しか無いものさし>

長さを計るときは、素数（割り切れない数）しかメモリがないので「不便なものさし」ですが、人は自分の頭で何とか使おうと考えるものです。足したり、引いたりして使用することになり、頭の体操になるのでは。



<文字の無いテンキー>

かなり習得度が必要で、記憶力・集中力が無いと使い切れない不便なものです。これを不便益と考えられますか？





専門部・部長の挨拶

文化芸能部

部長 藤塚 助男

令和5年になり、新聞の記事によるとようやくコロナ感染者数が少なくなる傾向がみられますが、マスクの自由化や、外国からの入国者の増加、5類への移行などで感染者数が増え、色々な場面で支障が出てこないか心配です。そんな中、文化芸能部でも、講演会、教室などを計画していきたいと思っています。今年度も例年の夏祭りを計画していますが、自治会や関係者と協議・検討し、また、他のまちづくりセンターも参考にして実施しようと思います。11月に開催予定の第64回宮代文化祭の開催日が小学校創立150周年記念での講演会、さらに宮代防災会が計画されている研修会もあり、日程の調整が必要になっています。文化祭の展示物も年々減少し、何か新しい企画も含め、多くの作品の出品による開催が望まれます。皆様のご提案、ご協力よろしくお願い致します。



環境整備部

部長 木村 正義

コロナ禍前の生活が取り戻せるようになりました。環境整備部の令和5年度の事業計画ですが、農業体験学習の一環として、宮代小学校の1・2年生を対象に、5月には、トウモロコシとさつまいもの苗を、「農地・水保全活動組合」の役員と、「まち協サポーター会」の方々のご協力を得て植えます。7月にはトウモロコシ、10月にはさつまいもの収穫体験も行います。また、環境美化活動としては、山田川や美濃里・ゆのきがわの道路沿いに、季節に合わせ色々な花を、小学校・中学校のPTA、子ども会育成会の有志の方々のご協力を頂き、年2回植えようとしています。その他、道路の空きビン・空き缶の回収作業や、堤防の草刈りも行い、町のきれいな環境作りのお手伝いをして行こうと思います。



5月5日 国の重要無形民俗文化財に指定されている南宮大社例大祭が執り行われ、御神輿・母衣花の渡御また、こども神輿も3年ぶりに復活し子供達の元気な声が町中に響きました。

御神輿



子ども神輿



母衣花



5月1日 宮代小学校の校庭を、草刈りボランティアの方々により草刈りと草むしりが行われ、時間内に運びきれなかった草を小学生が決められた場所に集め、グラウンドが綺麗になりました。



5月10日 宮代小学校において「子どもお花教室」が3年生を対象に開催されました。5種類のお花を先生の指導にそって各自のセンスで生けました。



5月16日 宮代小学校創立150周年の記念行事の一つ、小学生・こども園児・地区住民による人文字の航空写真撮影が行われました。



*指揮蛙 鳴きて合唱 始まりぬ
久保田 絃義

*代搔きて 蒼天映す 水面なる
川瀬 慶泉

*万緑や 早瀬は白く 輝きて
三和 光子

*虹の橋 わたってきたよ 風の音
中嶋 結映



宮代の人物シリーズ

「宮代の自然と歴史・文化を愛する会」 藤塚 久勝

その六 源々斎 松風（北嶋佐平）

源々斎松風は、本名を北嶋佐平と称し、明治16年11月11日宮代村北嶋弥五兵衛の子として生まれた。若い頃、名古屋に在って東山流の生け花と、松尾流茶道を、高山氏に就いて学び、一意専心その奥義を極め、源々斎松風と名のつた。

大正3年、宮代に帰り、南宮神社に奉仕し、東山慈照院伝流を創流し同15年「東山会」を組織し、華道・茶道を教授した。

松風は生涯妻帯せず、山野を跋涉し華財を採取し、これを門弟に与え、限られた空間に如何にして自然の生きた姿を表現するかを重点に指導した。

松風八十八才、米寿の記念碑が南宮神社境内にあります。

昭和48年3月30日 没 行年90才

<碑文>（裏面）

宗匠北嶋佐平老師は若き頃名古屋にありて、東山慈照院伝流の華道を学び、大師玄源々斎の雅号を以て研鑽良くその奥義をきわめて帰郷さる門弟その流風を仰ぎて相集うに及び、東山会を結成し初代会長に山本一治氏を擁し、師を家元と仰ぎて新たに一派を興しその伝流を創始せり師は只門弟の育成に心を致されこの道一筋に生涯の全てを尽くさる。



<編集後記> ★チョット堅い話

少子化は労働人口が減って、人手不足が進み、経済成長が止まり、年金が維持できなくなるのではと思います。介護や医療の分野でも大きな影響があると思われます。今の中高生が年老いたとき介護サービスが受けられないかも知れません。また、高齢者も年金の受給額が減る可能性があるのです。国の掲げる三本柱は、経済的・物理的・心理的負担の軽減としています。大きくて、難しい問題ですが、少子化は他人事とせず、一人一人何か出来ないか考えなければと思います。

6月・7月の休館日(予定)

6月 6日(火)・13日(火)
20日(火)・27日(火)
7月 4日(火)・11日(火)
18日(火)・25日(火)

編集・発行

〒503-2124
不破郡垂井町宮代664番地4 宮代地区まちづくりセンター
TEL・FAX: 0584-22-1010



宮代地区まちづくり協議会 西川 一明

E-mail: miyashirokou@town.tarui.lg.jp



宮代まちづくりセンター西方の景色

紙面充実へ皆さまのご意見をお寄せ下さい